

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和4年度4月～令和5年3月）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	17,520	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,735	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.69	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（令和4年4月～令和5年3月）

前々年度（令和3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	16,060,334	円	利用者に支払った賃金総額	13,937,681	円	収支	2,122,653	円
前年度（令和4年度）								
生産活動収入から経費を除いた額	18,288,209	円	利用者に支払った賃金総額	17,701,937	円	収支	586,272	円

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和4年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数	● 名
※取得を進めた免許等：	○○○
制度の活用内容：	○○○
	○○○

②利用者を職員として登用する制度

◎職員として登用した人数	0 名
◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している	☐
◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している	☐
※登用した日	●年●月●日
勤務形態：	
就業時間：	●時●分～●時●分
職務内容：	○○○

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務を行った人数	2 名
※実施した期間：10月3日～11月10日	
：1月13日～1月20日	
就業時間（在宅勤務）：10時00分～15時00分	
職務内容：	PC入力・資格学習・Word・Excel学習

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制を活用した人数	0 名
※実施した期間：●月●日～●月●日	
就業時間（コアタイム）：●時●分～●時●分	
職務内容：	○○○

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に従事した人数	1 名
※実施した期間：7月26日～11月17日	
就業時間（短時間）：13時00分～15時00分	
職務内容：	軽作業 ゴムの検品箱詰め

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度を活用した人数	1 名
※実施した期間：4月1日～3月31日	
就業時間（早出の場合）：9時00分～14時00分	
就業時間（遅出の場合）：11時00分～16時00分	
職務内容：	軽作業 ゴムの検品箱詰め

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数	1 名
◎計画的付与制度を活用した人数	● 名
※取得した制度	有給休暇の時間単位取得 ☒
	計画的付与制度 ☐
取得した期間：11月11日～3月27日	
取得日数・時間	5日 18時間

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数	1 名
※取得した内容	傷病休暇
取得した期間：4月11日～8月22日	
就業時間：	10時00分～15時00分
職務内容：	軽作業・ゴムの検品箱詰め

（※）当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和4年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎研修実施回数	外部 9回/内部 2
対象職員数	7 人
うち研修受講者数	7 人
※研修名	発達障害の特性と職業的課題
研修講師	エンカレッジ 東良太郎
実施日・受講者数	7月 15日 7 人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数	0 回
※研修、学会等名	○○○
実施日	●月●日
※学会誌等名	○○○
掲載日	●月●日
発表テーマ	○○○

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	☐
◎他の事業所の視察・実習を受け入れている	☐
※先進的事業者名	
実施日/参加者数	月 日 人
※他の事業所名	○○○
実施日/参加者数	●月●日 ● 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数	2 回
※商談会等名	リアル交流会・懇親会
主催者名	JCI日本青年会議所
日時	7月 1日 1月23日
内容	企業交流会・商談会
	販路拡大・就労先の開拓

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☒
◎当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日	4年 4月 10日
人事評価制度の対象職員数	8 名
うち昇給・昇格を行った者	0 名
当該人事評価制度の周知方法	職能資格制度期待の閲覧・懇談

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間	●月●日～●月●日
就業時間	
職務内容	○○○

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☒
※評価を受けた日	●月●日
第三者評価機関	○○○

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	☐
※認証を受けた日	●月●日
規格等の内容	○○○

（※）実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。
必要に応じて行を増やす等、

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	プレゼント
住 所	大阪府東大阪市長田中1丁目4番12号 イマザキマンション2階C号・D号
電話番号	06-6748-0255

事業所番号	2715006488
管理者名	平山 正人
対象年度	令和4年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	○	45
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

（Ⅱ）生産活動

①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		40
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上ではない		
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		点

（Ⅲ）多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検勤奨に関する制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件		35
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
小計（注1）	10	点

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上:35点、6～7:25点、1～5:15点

（Ⅳ）支援力向上（※）

◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上半数未満であった		
参加した職員が半数以上であった	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回の場合		
2回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組も行っている		
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		
1回の場合		
2回以上の場合	○	25
◎ ⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	6	点

（※）任意の5項目を選択すること

（注2）8以上:35点、6～7:25点、1～5:15点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している。	○	10
1事例以上ある場合:10点		点

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点
生産活動	5点		20点		25点		40点	
多様な働き方	0点		15点		25点		35点	
支援力向上	0点		15点		25点		35点	
地域連携活動	0点				10点			

合計	155	点	／200点
----	-----	---	-------

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	プレゼント	事業所番号	2715006488
住 所	大阪府東大阪市長田中1丁目4番12号 イマザキマンション2階C号・D号	管理者名	平山 正人
電話番号	06-6748-0255	対象年度	令和4年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

場所①：株式会社三木製作所
 時間①：月～金 9：00～17：00
 施設外就労の概要：倉庫内作業：2名程度
 場所②：事業所近辺
 時間②：9：00～9：30
 活動の概要：地域清掃

<目的>

- ・工場で施設外就労を行うことで最低賃金以上の工賃を得るとともに一般就労に近い勤務体制で働くこと。
- ・事業所近隣の清掃を行うことで地域との交流と社会貢献をすすめていく。

<成果>

- ・工場で施設外就労を行うことで一般就労につながる作業を経験することができた。工賃は最低賃金以上の賃金を得ることができている。
- ・事業所近隣の清掃作業を行うことで地域との交流と貢献を行っている。利用者や事業所として社会貢献を行っている。

<活動の様子>



作業の様子

連携先の企業等の意見または評価

- ・指示した作業内容の確認を必ずしてくれますので認識の違いはなく仕事を完了することができています。作業の意味を考えて幅広く対応できるようになっています。
- ・清掃活動を行うことで利用者の方が社会の一員として活動し地域に貢献することが出来ている。また事業所周辺の美観の向上に努めている。

連携先企業名	株式会社三木製作所	担当者名	中 様
--------	-----------	------	-----